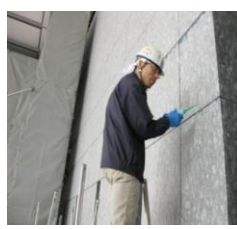


萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

5月に入って、ポカポカ陽気になってきましたね。昼間は30℃近くになる時もあるので、早くも暑さ対策が必要になってきました。

ただ、寒暖差が激しいので、体調を崩さないように気を付けて過していきましょう。先日、かなり薄手の速乾タイプの長袖ジャケットを皆で揃えましたが、この時期にはぴったりで、朝夕の寒さ対策にもなり、このごろは、毎日着ている堀内貢次です。

「成人式用の着物写真撮影」

5月のゴールデンウィークの後半に、来年1月の娘の成人式の前撮りの写真撮影会が、コンサートホールを併設したレストランで行われました。室内だけでなく、庭園のある外でも行われ、本人もかなり楽しんでいました。10人くらいの新成人候補が時間差で写真を撮っていくのですが、カメラマンが2人、メイクさんは3人もいて、結構本格的でした。

早いもので、娘の萌黄(もえぎ)も二十歳になります。気持ちの上では、やっと、荷が下りる気分ですが、まだ学生なので、父親としてもう少し頑張らないといけませんね。当の



本人は、これから大人の仲間入りというよりは、まだまだ、食べることばかりに関心がいっているみたいです。

「漏水による油分を含んだ濡れシミ」

今回の石材メンテナンスは、2階の飲食店で漏水があり、1階の天井を伝って1階通路部分の床石まで水浸しになってしまった現場からです。飲食店のため浸水の中に油分もかなり含んでいたようで、水だけでない濡れシミになっています。対処方法は、油シミもあるので、まず、アルカリ洗剤で、全体洗いをしていきます。シミ部分へは、原液の洗剤を塗布して、10分くらい放置します。それから、3倍希釈の洗剤で、全体洗浄をして、今回のシミ以外に、日常の中で付いた汚れも一緒に洗浄していきます。洗浄後、十分に乾燥させ、それでも残っている濡れシミ部分へ、今度は湿布をしていきます。一度、水浸しになると、モルタル成分を含んだアルカリ水の

シミになるので、時間をかけて湿布していきます。最後に、よくすすぎ洗いを完了となります。



1. 油分を含んだ濡れシミ



2. 全体洗浄



3. シミ抜き剤を塗布しラップする



4. 油シミ抜き完了後

「ピアノコの茶サビ抜きテスト」

あるオフィスビルのエントランスがピアノコの壁で出来ているのですが、湿気による経年変化で、壁の最下段部分よりサビシミが発生しています。鉄分が多いのがこの大理石の特徴です。茶シミが出ている所へ、サビ抜き剤を何回も塗布し、反応させて抜いていきます。



(編集後記) GW中前半は、宮城県の現場があり、少しの時間を利用して、南部の亶理町の荒浜に行ってきました。15m以上の津波が来た所で、その爪あとをみて、まだまだ、これからなんだなあ、と、呆然としてしまいました。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp